

Imaging Team

掲載内容

1) Meta Imaging Series 最新情報

MetaMorph Basic オフラインソフトウェアに 4D Viewer/3D Measurement オプションと多次元データ表示機能が標準で含まれるようになります

Transfluor アプリケーションモジュールが MetaMorph で使用できるようになりました

MetaMorph NX バージョン 1.1.560.4 がリリースされました

次期バージョンの MetaMorph 64 ビット版で 3D デコンボリューションが可能になります

2) 機器情報

89 North 社製 LED 光源ユニット Heliophor の波長組み合わせについて

Andor 社製 Neo、PCO 社製 Edge sCMOS カメラのフレームレートについて

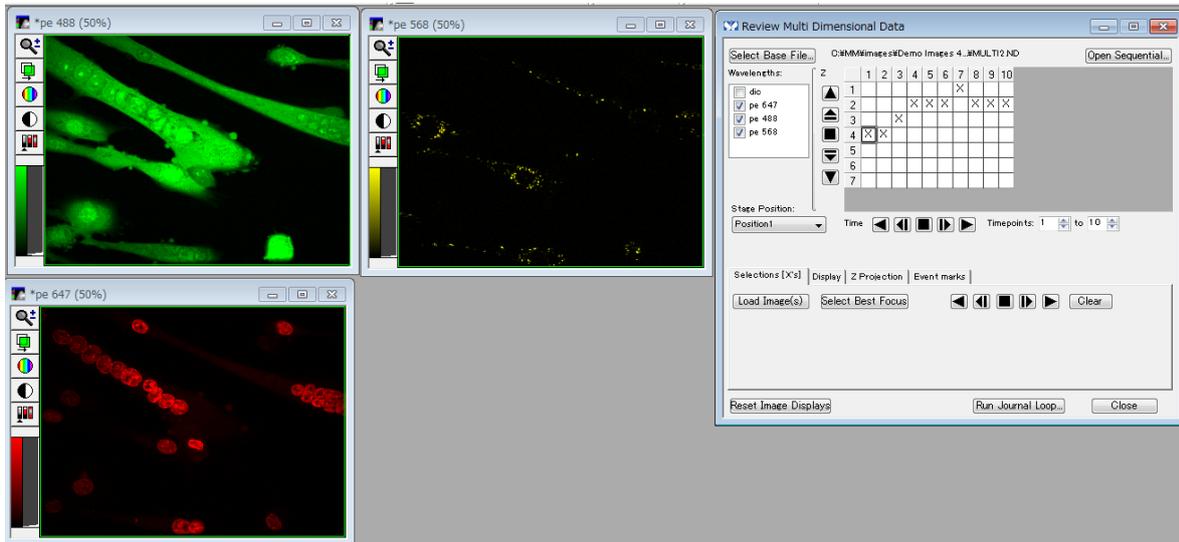
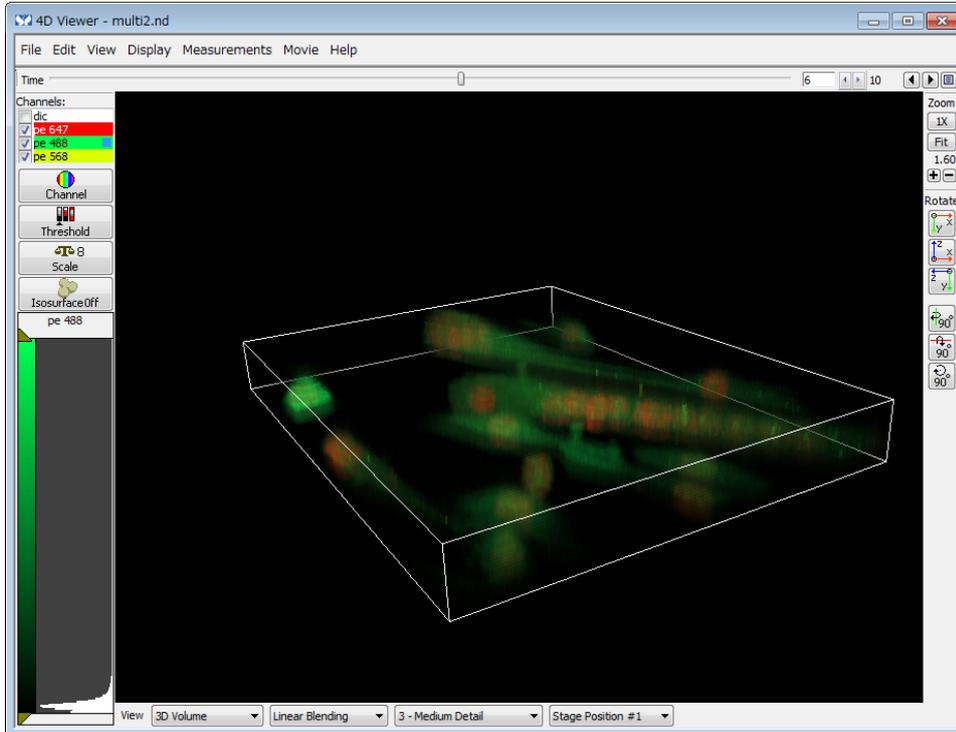
3) デモ機情報

Ludl 社正立型顕微鏡用 Piezo Z ステージのデモ機を用意しました

1) Meta Imaging Series 最新情報

今後ご購入頂きます **MetaMorph Basic オフラインソフトウェア**に **4D Viewer/3D Measurement オプション**と**多次元データ表示機能**が標準で含まれるようになります。

MetaMorph または各社コンフォーカル顕微鏡で多次元画像取得した際の画像処理に有用になります。



※画像取得用の MetaMorph Basic ソフトウェアには、4D Viewer/3D Measurement オプションと多次元データ表示機能は含まれません。

別途有償オプションとしてご購入いただく必要があります。

Transfluor アプリケーションモジュールが MetaMorph で使用できるようになりました。

ハイコンテツスクリーニング用として使用していた Transfluor アプリケーションモジュールが、MetaMorph で使用できるようになりました。

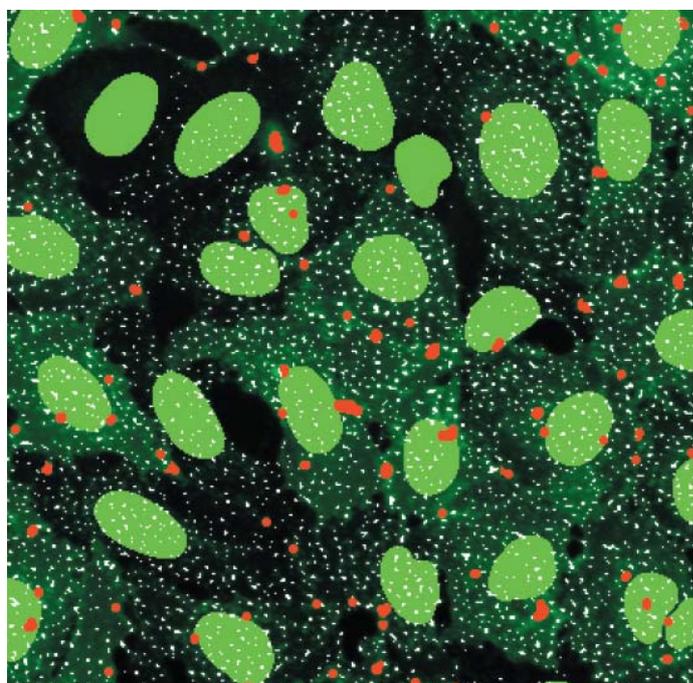
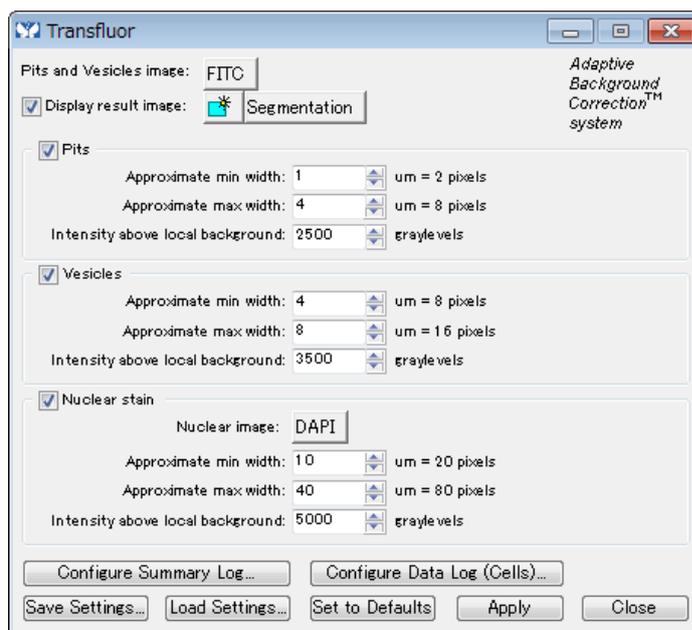
MetaMorph Basic の場合は、有償オプションになります。

MetaMorph Premier の場合は、5 個のアプリケーションモジュールとして選択可能になります。

(さらに追加したい場合は有償で追加可能)

Transfluor アプリケーションモジュールの特長は、ドットの大きさを 2 種類設定 (Pit と Vesicle) でき、それぞれのカウントを行うことができます。

核画像を併用することにより、細胞毎の値を求めることができます。



MetaMorph NX バージョン 1.1.560.4 がリリースされました。

MetaMorph NX バージョン 1.1.560.4 がリリースされました。

メンテナンス期間中の ID で MetaMorph NX をご使用中であれば、

<http://www.meta.moleculardevices.com/updatesnx/index.php>

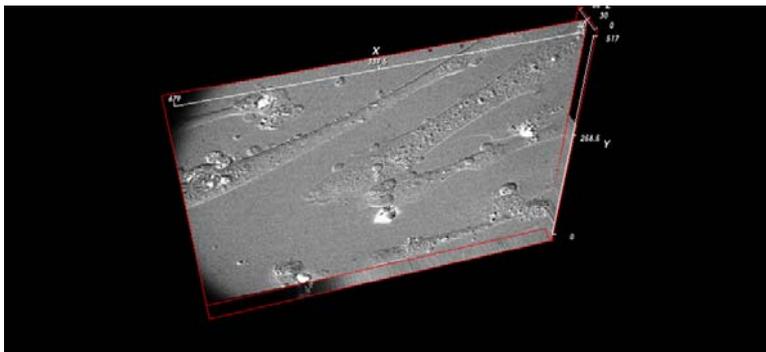
で ID を入力後 Log In して、**1.1.560.4 Update** をクリックして下さい。

ダウンロードしたファイル (MetaMorph NX x86 Version 1.1.560.4.msi(32 ビット用) または MetaMorph NX x64 Version 1.1.560.4.msi(64 ビット用)) を起動させてアップデートを行います。

このバージョンより 4D Viewer がオプション(有償)で追加できるようになりました。

多次元で画像取得を行った際、立体画像表示を行うことができます。

4D 表示やスライス表示、スケール表示なども可能になります。



次期バージョンの MetaMorph 64 ビット版で 3D デコンボリューションが可能になります。

バージョン 7.7.5 までの MetaMorph 64 ビット版では、3D デコンボリューションを使用することができませんでした。これは、3D デコンボリューション用の 32 ビット用 SDK にのみ対応していたためです。

このたび、64 ビット SDK に対応させることができましたので、次期バージョンの MetaMorph 64 版から 3D デコンボリューションを使用することが可能となります。

※3D デコンボリューションは有償オプションとなっております。3D デコンボリューション機能を含んでいない ID の場合、追加して頂く必要があります。

2) 機器情報

89 North 社製 LED 光源ユニット Heliophor の波長組み合わせについて

Heliophor には 405nm, 430nm, 480nm, 500nm, 530nm, 555nm, 580nm, 640nm, 670nm の LED モジュールが用意されており、Heliophor 本体に最大で 6 個(波長)搭載することができます。

しかし、波長によって同時に搭載できるものとできないものがあります。

(波長が近いものの場合同時使用ができません。)

下記の表で

■と■は組み合わせ不可

■は長波長 LED でのオーバーラップが生じているが組み合わせ可能

■は組み合わせ可能

となります。



	405	430	480	500	530	555	580	640	670
405	■								
430	■	■							
480	■	■	■						
500	■	■	■	■					
530	■	■	■	■	■				
555	■	■	■	■	■	■			
580	■	■	■	■	■	■	■		
640	■	■	■	■	■	■	■	■	
670	■	■	■	■	■	■	■	■	■

Andor 社製 Neo、PCO 社製 Edge sCMOS カメラのフレームレートについて

MetaMorph バージョン 7.7.5 で Andor 社製 Neo sCMOS カメラを制御した場合、フルチップで毎秒 10 フレーム程度(10 fps)の画像取得になります。(カメラ単体のカタログスペックは 100fps)

当社開発の方でドライバを改良いたしまして **23 fps** まで可能になりました。

次期バージョンより新しいドライバを使用して、23 fps が可能となります。

しかしながら、現在標準として使用している IF ボードに限界があり、そのため上記の値となっております。

現在 Andor 社の方で別の IF ボードが使用できるように SDK の改良を行っております。Andor 社の方で完了しましたら、当社開発の方でも新しい SDK に合わせたドライバを作成し対応する予定しております。

PCO 社製 Edge sCMOS カメラを使用した場合、MetaMorph バージョン 7.7.5 でカタログスペック **100 fps** が可能であることを確認しております。



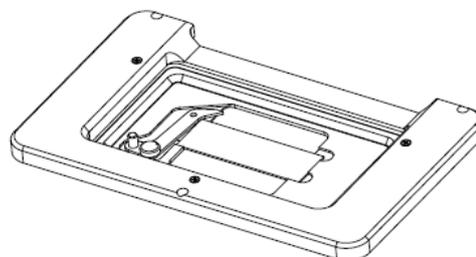
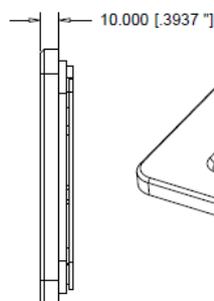
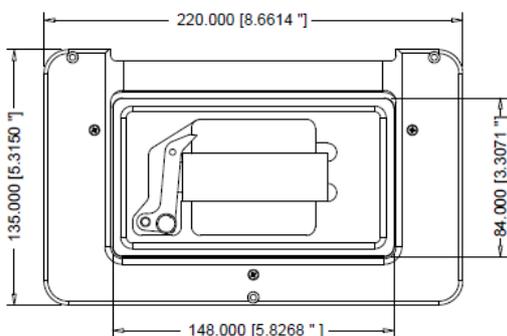
3) デモ機情報

Ludl 社正立型顕微鏡用 Piezo Z ステージのデモ機を用意しました。

SalesNote-FY1106 で報告しておりました、Ludl 社製正立型顕微鏡用 Piezo Z ステージのデモ機を用意しました。



仕様:
移動距離 350 μm
分解能 16 bit
位置再現性 1 nm
設定時間(50 μm move 150g 負荷) 25ms
精度 (full travel) 0.5 %
最大負荷 750 g



dimensions: mm [in]
shown: 96A604 with 99A613 slide holder

Ludl社正立型電動XYステージおよびオリンパス社製BX51顕微鏡マニュアルステージに取り付けて使用することができます。

デモ機をご希望の方は当社担当営業までご連絡下さい。



顕微鏡取り付け例(オリンパス BX51 マニュアルステージに装着)

以上